

第 25 回災害廃棄物対策中国ブロック協議会 議事録

日時：令和 8 年 2 月 9 日(月)13 時 30 分～15 時 30 分

場所：ワークピア広島 蘭 A.B

オンライン会議システム併用

議 事：

- (1) 令和 7 年度の調査結果の報告
 - ①協議会に関する調査・検討事項
 - ・他ブロックとの連携の在り方に関する調査結果報告
 - ・災害廃棄物の広域輸送に関する調査結果報告
 - ・ブロック内での広域処理を行うための調査
 - ②小規模自治体（世羅町）の検討報告
 - ③研修会等の実施結果報告
 - ・災害廃棄物処理支援員に対する研修会の実施報告及び手引きについて
 - ・図上訓練の実施結果報告
 - ・ブロック行動計画に係る説明会及びセミナーの実施報告
 - ④中国ブロック行動計画改定案について
- (2) 次年度以降のブロック協議会での取組に係る課題

4 報告事項

- (1) 災害等廃棄物処理計画策定及び改定モデル業務
- (2) 災害廃棄物対策中国ブロック協議会構成員における各自治体での災害廃棄物対策への取組

1 開 会

2 あいさつ

中国四国地方環境事務所 所長 坂口氏より開会のあいさつが行われた。

<出席者について>

- ・山口県＝交通機関の乱れから Web 出席に変更
- ・座長＝交通機関の乱れのため遅刻予定。それまで副座長が進行実施。

(副座長)

座長より代理にて議事進行を行うよう連絡を受けました。代行させていただきます。

3 議 事

(1) 令和7年度の調査結果の報告

①協議会に関する調査・検討事項

(事務局 MURC)

(資料1 調査部分(第4.5.6.7)説明・省略)

(委員)

23 ページについて、表現として、「鉄道輸送については、太平洋側エリアはオフレイステーション形式の駅が多く、鉄軌道で接続した駅は少ない。」とあるが、オフレイステーションでも高知等2カ所しかないと思う。記載内容を確認してほしい。

38 ページの「広域処理に係る検討」の図表について、このデータをどのように活用するのかが見えていない。その点を整理してほしい。一般廃棄物処理施設の活用は整理されているが、災害廃棄物処理施設についても可能性など検討してほしい。

(事務局 MURC)

貨物駅は数える程度で、使い勝手は悪いという点は指摘の通り。もう少し駅があったと記憶しているので確認させていただく。

38 ページについて、災害廃棄物の受け入れは、前処理などの条件があることが調査で確認できた。受入可能だが条件事項が多く、活用についてはハードルがあることを考慮し扱っている。

(委員)

21 ページの手順について。最終行が、次頁のとおりとなっているが、これは24 ページのことと思う。

20 ページの出典にある1次輸送と2次輸送の定義を示してほしい。

(事務局 MURC)

21 ページについては、資料2の通りとしたい。

20 ページの定義については、出典を確認して整理させていただく。

(副座長)

広域輸送の駅、港湾は、図での整理は理解がしやすいが、手引きについては、各県に所在する港湾と駅の箇所を「表形式」にて作成をお願いしたい。

次の議事に進めさせていただく。

(1) 令和7年度の調査結果の報告

②小規模自治体(世羅町)の検討報告

(事務局 MURC)

(資料1 小規模検討・世羅町部分(第8)説明・省略)

(副座長)

座長到着されたが、当該項目までは副座長にて進行する。

(委員)

kari-hai を活用いただいた。開発者の一人として使用に感謝したい。

レイアウトについて、参考にしてほしいことがある。52 ページにレイアウトが示されている。実際の地図に車の動線が描かれている。仮置場の進入は、下から北上して、右折する形状になっていた。可能なら北から南下して左折進入の方がよかったのではないか。

(副座長)

左折入場→左折進入→左折退出の時計回りが基本だと思う。

(委員)

世羅町は災害が起きた時の情報収集方法について、住民がどのように行動するのか、この町は町内会に連絡するのか、公民館に張り出すのか、どのように町民に連絡をとるのか、議論されたことがあれば教えてほしい。

(事務局 MURC)

足の悪い方などに対して、平常時個別回収を行っている。そうした方へのアナウンスをすることはどのように行うか議論した。

(事務局 MURC)

委員の質問について、進入の考え方として、当該仮置場は町中から北東部・右上の縁辺部に位置する。当該方向の西の左側からアクセスする。交通量は東西方向が少しあるだけで、左折進入する車両は仮置場にくる車両程度で少ない。そのため、北上部分で車両待機させることができ、交通量からも右折進入も大きな影響はないと議論した。

また広報については、そもそもマニュアルの記載程度で、具体議論はできておらず、チラシ作成から行うことが重要として試行を行った。加えて、委員からのアドバイスがあり、平時のゴミ出しルール資料に災害時の排出ルールを追加し、情報発信したらどうかという議論もさせていただいた。

(副座長)

世羅町は、平時から隣接地区に一般ごみの処理を委託している。災害廃棄物の対応は、2人体制で、災害時にも隣接地区に対応することになるようなバックボーンがある。中山間地域で人口は1万人未満。

小規模自治体は、臨海部や過疎化した地域などいろいろな地域特性があることから、今後もその他の地域特性を持つ小規模自治体での検討を継続することが重要かと思う。

(1) 令和7年度の調査結果の報告

③研修会等の実施結果報告

(事務局 MURC)

(資料1 セミナー・第3、図上訓練10の説明・省略)

(座長)

図上訓練の課題整理がされているが、議事最後の課題に反映されていると理解してよいか。

(事務局)

反映している。

(委員)

104 ページの応援可能リスト・受援可能リストについて、参加者の2割が理解しているとの回答だった。研修は一定の成果があるので継続してほしい。一方で、応援可能リスト等の理解度が2割というのは意外だな、低いなという印象だった。今後に結び付けてほしい。

(事務局 環境省)

応援可能リストなどは、かなり細かい情報である。理解するには少し難しかったかもしれない。行動計画の改訂もあるので、理解が進むように対応していきたい。

(副座長)

113 ページの支援員が活用できる手引きの作成について、支援員にて活用いただくものとの趣旨は理解できる。一方で、手引きは研修のテキストになると思う。研修資料として活用し、質問等があれば、修正していけばよいと思う。

(事務局 環境省)

初心者向け資料ではなく、支援員の手引きとして利用する。支援員には手に渡るように活用していきたい。

(1) 令和7年度の調査結果の報告

④中国ブロック行動計画改定案について

(事務局 MURC)

(資料 2-1、2-2、2-3の説明・省略)

(倉敷市)

年末に関係素案に対する意見照会をさせていただいた。

支援受援の経験から、ボランティア対応について発言したい。ボランティアセンターを経由した個人対応と、組織対応するボランティアを考えた場合、組織対応ボランティアの方が効果が大きい。

資料2-2の支援要請調整について、13ページの先遣隊の位置づけが重要だと思う。自治体職員の同行が大切と記載しているが、倉敷市で処理計画の改訂を進めており、

この行動計画を参照することとしている。支援・受援する時の庁内意思決定の根拠とするため、行動計画に具体的に示されていることが重要だと思う。

21 ページの第二段階のフローについて、関東ブロックなどでは、支援チームの組成を計画で位置づけるような取組を行っている。21 ページや 39 ページの記述では、経験者と経験していない職員による行動が示されているが、支援チームの形で動けるようになるとうい。

人材バンクは、手に負えること、手に負えないことがあり、マッチングが重要だと思う。

行動計画は、実務で運用していきたいと思うが、より実効性のあるものにしていく議論が進められればと思う。

(事務局 環境省)

支援について、支援員の活用は、中国四国事務所管内は、ベテランの経験者が乏しいことから、経験者に未経験の職員が加わることで、体制を整えることを想定して記載している。

マッチングについては、支援員のキャリアを理解しておくことが重要だという認識を持ち、協議会・幹事会などで、人員の情報の共有を進めていきたい。

(委員)

17 ページについて 南海トラフを想定していると思うが、応援市町村と応援県についての記載がある。南海トラフ地震の発生直後は、応援市町村や応援県はないと思うので、どのような位置づけになっているかを確認したい。

28 ページについて、図表 17 の広域処理調整がある。環境事務所の役割について、「被災県に情報を提供」と記載がある。資料 2-2 の説明で、マッチングは事務所で振り分けるとなっていたと思う。被災県が複数あった場合は、事務所で振り分けをどのように処理するか確認したい。

(事務局 MURC)

被害のない、少ない市町村・県は、応援できる準備をすることを想定し、応援自治体として整理している。被災県は一つと限定していない。環境事務所にて振り分ける形を想定して記載している。

(座長)

今後の修正についてはどうか。

(事務局 MURC)

記載内容について意見がなければこのまま進めたい。

(2) 次年度以降のブロック協議会での取組に係る課題

(事務局 環境省)

(資料 3 説明・省略)

(副座長)

8年度以降と記載されているので、8年度計画ではないということか。

行動計画は、し尿・浄化槽にあまり触れていない。能登災害の経験からしても、し尿・浄化槽の検討はしないのか。調査検討の中で扱えないか。バキューム・仮設トイレなど、ブロック支援について検討しないのか。

(事務局 環境省)

継続して取り組んでいくことも念頭にしており、8年度に限定していない。

し尿関係は、支援員の研修テーマや、処理計画のモデル事業での主要テーマとしているため、その関連で進められればと思う。

(副座長)

関東ブロックでは、6年度にし尿処理施設の余力調査を行い、隣県での県境を越えた相互協力も行っていくこととしている。検討の余地があると思う。

(事務局 MURC)

網羅的な検討ではないが、小規模自治体・黒潮町での取組では、し尿を重要視して検討した。資料に記載している旨情報提供しておきたい。

(委員)

人的ネットワークの構築に向けた取組の3点目。初任者向けの研修に関して、自治体での取組実態を調べた方がよいと思う。人事異動に対して、ノウハウの蓄積・共有・引継ぎなどの状況を確認したらどうか。初任者研修に関連して、自治体の取り組むべきことを調査し、良い取組や対策を共有したほうがよい。

(事務局 環境省)

来年度、研修モデル事業を検討している。自治体に研修事業の実施、モデル地区として実施する意向の照会を行っている。来年度の協議会で取組を報告したいと思う。

(座長)

来年度の協議会で報告ください。

その他の意見はないようです。進行を事務局にお返しする。

4 報告事項

(1) 災害等廃棄物処理計画策定及び改定モデル業務

(株)ウエスコ 資料説明・省略)

(2) 災害廃棄物対策中国ブロック協議会構成員における各自治体での災害廃棄物対策への取組

(事務局 MURC 資料5説明)

(事務局 MURC)

資料の修正を行う。修正について座長への一任としたい。承認いただけるか。

<委員 承認>

議事録案を1週間程度を目途に発信する。その他の追加意見は1週間程度で提出をお願いしたい。修正対応行い、資料は全自治体に発信させていただく。

以上で協議会を終了する。

本日は長時間ありがとうございました。

5 閉会

以上